

Trimble + efit One

新しい S7は、FZ-N1 を分離型にできます。

Trimbleのオプション「**Nikon 通信プロトコル**」とefit Oneの「**外部通信機能**」を使用する事で、A-AdB と連動できます。
ユーザ様からの報告です。



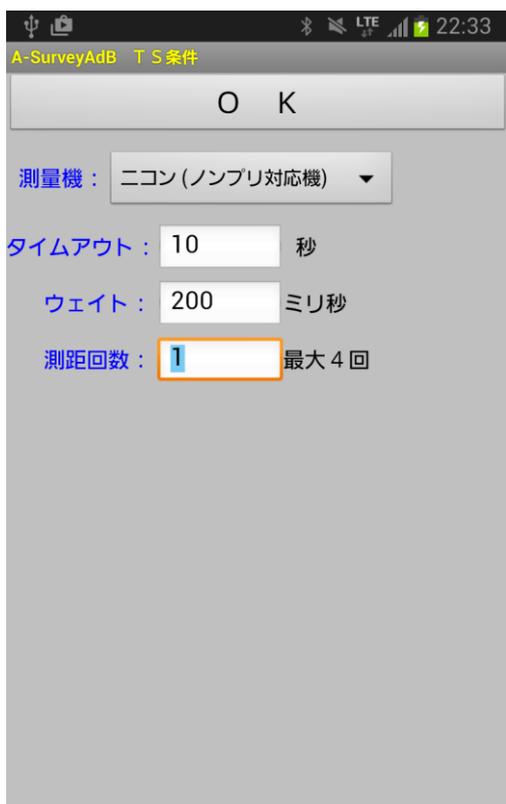
■分離型 「Panasonic FZ-N1」

縦画面使用・横画面使用状況に合わせて切替可能

器械設置の時は横画面、観測作業中は縦画面で使用するなどプログラムや観測状況により画面の縦横の切り替えが簡単に行えます。



「Nikon 通信プロトコル」は、オプションで10万と聞いています。



A-AdB 3.0.4にてTrimble Robotic
連続測距機能が追加されています。
3.0.4 の説明書をご覧ください。

使い方

S7 ⇔ FZ-N1 ⇔ A-AdB

FZ-N1 と A-AdB が動作するAndroid機の2台が必要です。

FZ-N1のefit One の「外部通信機能」でA-AdBとBlueTooth通信します。

efit One からA-AdBとペアリングします。

これにより、A-AdBで測定ボタンを押すと、efit Oneを介してS7と通信し、データを取得できます。

これだけなら普通ですが、この時に efit One も同時に使用できます。観測は、A-AdBで行い、モーター制御はefit One で行うという事が出来ます。FZ-N1とA-AdBのandroid機はペアリングし、A-AdBの「BlueTooth設定」でFZ-N1を指定です。

ユーザ様は、最初 FZ-N1とA-AdBのAndroid機2台を腕に付けて観測していたそうです。

その後、TeamViewer を使用する事で FZ-N1は胸ポケットに入れてA-AdBのAndroid機のみ腕に付けて使用しているとの事です。

A-AdB側にある、efit Oneの操作でFZ-N1のefit Oneが動作します。下記の様に、Android機に「ポップアップ表示で起動」機能があればFZ-N1の画面を 同時に表示できます。または切り替えて使用です。



TeamViewerを使用する為に、1台はネット接続が必要です。
もう1台は、テザリングでOKです。

A-AdB側には、**TeamViewer**をインストール。

FZ-N1には、**TeamViewer QuickSupport** をインストールします。